



兵庫支部NEWS H22年 10月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

忘年会は12月4日(土)

午後5時半から三宮「かこみ市場」で

今年の忘年会は、例年通り12月第一土曜日である12月4日に開催する事になった。

会場は、「大地の恵みと海鮮網焼きダイニング」がうたい文句の、三宮創作和食「かこみ市場」で、午後5時半から開催される。

会費は、5,000円を予定しており、近日中に、過去の支部総会・忘年会出席者や欠席連絡者、支部運営協力金協賛者などを中心に、案内状が送付される予定である。開催要領は下記の通り

記

平成22年度兵庫支部忘年会

*開催日時:平成22年12月4日(土)17:30~

*開催場所:三宮 創作料理「かこみ市場」

神戸市中央区北長狭通1-9-3

レインボープラザビル5F

Tel.078-321-0181

*会費:5,000円/一人

*申込締切日:11月25日(木)まで

*申込先:兵庫支部事務局 中村明人(41商)

Tel./Fax. 0798-77-4998

E-mail:akito910@cl.bb4u.ne.jp

会場へのアクセスマップは下図の通り。



*JR三宮駅西口、阪急三宮駅東口から3~400m

*阪急三宮駅西口から約200m

*阪神三宮駅から約500m

*地下鉄三宮駅西口から約200m



損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村 実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

北九大、福大、九国大三者同率首位 優勝決定巴戦で連敗、3位確定

9月1日に開幕した九州六大学野球秋季リーグ戦は第5週を終り、北九大、福岡大、九国大の3校が共に7勝3敗で並び、10月11日に優勝決定巴戦が実施され、北九大は連敗し第3位に甘んじる事となった。

第4週終了時点で福岡大が7勝1敗で首位に立ち、5勝3敗の北九大と九国大が追う展開となっていたが第5週で北九大が福岡大に連勝し、九国大も久留米大に連勝し、3校が同率首位となり優勝決定戦に持ち込まれたが、最後は九国大に3-6、福岡大に2-9で敗れ、春季リーグ戦に続いてあと一步というところで優勝に手が届かなかった。優勝は連勝した九国大。

北九大は10月16日(土)・17日(日)に熊本県営八代野球場で開催の九州大学野球選手権に出場し11月13日(土)に開幕する明治神宮野球大会の出場権を目指す。

フルエントリー、6組24名が参加 兵庫・関西合同秋季三金ゴルフ

10月13日(水)六甲国際ゴルフ倶楽部で開催が予定されている兵庫支部と関西支部の合同ゴルフコンペは予約枠6組24名フルエントリーとなり、熱戦が期待される。組合せは下記の通り。

記

アウトスタート08:56	インスタート08:56
1組 梶山泰彦(30米英) 御堂隆輝(47経済) 河野旺生(36商) 井上隆令(会友)	1組 羽山忠男(39商) 永翁正臣(41商) 名倉勝征(41米英) 松山 仁(44商)
2組 青木富重(34中国) 渡辺恭章(43商) 山本信司(37米英) 後藤公一(38商)	2組 三本 寛(41中国) 村上勝幸(37商) 葉室新人(41米英) 久芳健二(44中国)
3組 入駒誠志(39商) 高井利治(42商) 山浦邦夫(会友) 景山政雄(会友)	3組 城戸善弘(41中国) 中村明人(41商) 鷹野哲雄(33商) 安徳信義(44商)

青字は関西支部

第15回兵庫・関西囲碁交流会予定

10月17日(日)日本棋院関西総本部にて

兵庫支部「囲碁の会」と関西支部「囲碁同好会」との秋の囲碁交流会の日程が決まった。

10月17日(日)午後1時から、大阪梅田の日本棋院関西総本部(Tel.06-6364-5841)において開催される。

今回で15回目を迎える交流戦の戦績は、高段者を揃える関西支部が圧倒的に強く、関西支部が11勝で兵庫支部は3勝のみ。個人戦の戦績でも関西支部が、171勝117敗2分と大きくリードしている。

兵庫支部の奮起を期待したい。なお、終了後懇親会(会費3000円位)があり、飛び入り参加歓迎します。

関西の「団塊世代」(S45年卒) 卒業40周年記念同期会を開催

高山行雄(45米英)記

快晴に恵まれた残暑の9月26日(日)、会場のホテルコムズ大阪(旧三井アーバンホテル)に向った。大坂城付近で発見された1トンの不発弾処理のため、環状線が2時間ほど止まるとの車内放送があったが、この影響は受けず、関西地区の出席予定者18名が顔を揃えた。兵庫からは5名が参加。同期生が現れるたびに、旧交を温めたり、初対面の自己紹介をする笑顔が輝く。皆さんを喜ばせたのは、単身赴任中のT氏が上海よりこの日の為わざわざ帰国してくれたことでした。



式次第は、世話人代表の挨拶、乾杯、近況報告、じゃんけんゲーム、校歌斉唱、写真撮影という簡単なもの。定刻の12時から和やかに会が始まった(テーブル配置は二列対面式)。「近況報告」では、「一人一分間厳守」という前触れなどどこ吹く風か、2~3分間が普通、5分間を越す人や、質疑応答もあった。話題は時空を超え、様々な方向へ進む。これぞ還暦を少し過ぎた「団塊の世代」の同期会だ!そのうちの主なものを紹介します。

- * 故郷に転勤し、仕事と親譲りの田圃4反による農業を両立させている新聞記者。
- * 他の大学では死者まで出た学生運動の中、過激な方向に走り退学した友を懐かしむ人。
- * 学校に殆んど出席せずパチンコ台を一日で3台終了させた豪傑。Aが4つのみ(そのうち体育が2つという)で、就職活動の苦労話が続いた。
- * クラブ活動のニックネームで呼ばれた嬉しさを浮かべ、その由来を説明する笑顔。この人の息子さんは東大医学部卒とのこと。
- * 私立大学の現況を丁寧に説明する大学副部長(地域貢献No.1のKKU学長の著書も持参していた)
- * 勤務先のあった北九州市から鹿児島島の故郷まで538Kmのマラソン完走者(一日30Km)。その定年記念走行を報じる記事スクラップ(朝日新聞、南日本新聞)を配り、今にも走り出さんばかりに語る。
- * 胃がんの手術後、体力増強に努めた奄美大島出身者色浅黒く病の片鱗も見せない精悍な容姿である。
- * 病の連続で体が切り刻まれていると病歴を誇る健やかな人。
- * 親の介護、実家の宗旨や墓について話す人達。
- * 児童文学書の出版に漕ぎつけて、初めて印税を手にしたと喜んでいう作家の卵。
- * 娘を嫁がせてほっとしていると語るやさしい父親。
- * 笑みを浮かべて、孫4人との触れ合いを述べる好々爺。

兵庫支部運営協力金御協賛者(追加)

7月3日開催の兵庫支部総会案内状とともに、兵庫支部運営協力金をお願いしていましたが、この程新たにご協賛頂きましたのでご報告いたします。

送金日:10月4日

協賛額:1000円

協賛者:勝間行仁様(H1 経営)

累計:73名、74,000円

兵庫支部月例会9月「三金会」

9月17日(金)午後6時から、定例会場「本館牡丹園」において開催された。

歩こう会9月例会に出席を予定しながら欠席してしまったお詫びにと、先月に続いて出席の永翁氏(41商)を含めて出席者は6人とやや寂しい集いとなったが、席上45年卒同期会が開催されるとの情報があり、別項の通りレポート入手。出席者は下記の通り



(二宮、名越、永翁、明亮、大村、中村、山本)

* 中国での体験を生々しく伝える人達(尖閣諸島で逮捕した中国漁船船長の取り調べ中であり、「時の話題」でもあった。

* 友人に「時の人」がいることを嬉しそうにしゃべる人。

* NPO活動で松茸山の再生に取り組んでいる京都の人。その活動を紹介する本を示しながら、30本ほど松茸が取れたと言う。

* 一年ぶりに多くの同期生と再会でき、「また、元気がもらえた!」と喜ぶ高校教師。

次に、全員で「じゃんけんゲーム」に移ったが、勝負がつかない。二組に分け、やっと勝負が決まった。賞品は「日本語検定」の本(出版社勤務者の提供品)



と来年のプロ野球観戦券と正月の伊勢神宮参拝乗車券であった。後者は現物ではなく、世話人の名刺に手書きした目録のみ。(勝者に成り代わって、手形の落ちることを祈念しています。)

3時間の宴はあっという間に終幕を迎え、4年後の再会を約束して散会した。二次会は「カラオケ組」と「喫茶店組」に分かれたが、双方とも話が尽きず「カラオケ組」では半分はおしゃべりが続いたとのこと。「喫茶店組」に加わったT氏に「何時、上海に帰るの?」と尋ねたら、奥さんとの会話で、『行く』と『帰る』を言い間違えると、その後の展開がややこしくなるとの答え。単身赴任の長かった小生も思わず大きくなすいた次第です。

熊野街道を歩く - 第4回 -

泉井上神社から和泉式部伝承地恋の湧まで

朝から快晴の10月12日、急遽思い立って熊野街道ウォークに出かける事にした。というよりも本紙作成の切羽詰まった日程(13日は三金ゴルフ)の為今日しかなかったのが本音。

それでもNHKの朝ドラ「てっぺん」を見てから、出発の用意。JR和泉府中駅に到着したのは11時過ぎだった。

前回のゴール、泉井上神社に10分ばかりで到着。境内では幼稚園児達が運動会の予行演習とやら。周りには多くの母親達が見守っていた。小生も前日に年中組の孫の運動会に行ったばかりである。



(泉井上神社では母親達) かりである。

境内を抜けて前回歩いた熊野街道に出て右折、南西の方向へと歩きだす。そのまま15分位直進し、横尾川にかかる柳田橋袂の民家の前に子宝地藏尊が祀られて、その横に「井ノ口王子跡」の石碑が立っていた。大阪から11番目の王子跡である。

柳田橋を渡ってすぐ、府道から右斜めに入って行き、小栗橋にやってきた。橋そのものは新しいもの

のようで小栗街道に因んで小栗橋と名付けられたと説明されている。橋の路面には熊野街道に関連した絵図が点々と嵌め込まれていた。

毎日牛乳の牛乳瓶形の看板を横目に見ながら、府道に戻り暫くすると岸和田市の標

識が見え、次の交差点にある衣料品店には「クッション入り岸和田祭足袋」とか「エア入り地下足袋」などの祭用品の宣伝ポスターが店頭飾られていた。また「御花御礼」として祭への寄進者名がずらりと掲示された大きなボードが街中の至る所で見受けられ、終わったばかりの岸和田

だんじり祭の余韻が残っている。大町交差点で右折し、今は痕跡もない池田王子跡があったという辺り(久米田駅北西)に行ってみる。12番目の王子跡にも行ったぞ、という自己満足のためにも。

大町交差点まで戻りそのまま直進(南東へ)し約1kで久米田寺の立派な楼門(右)の前に到着した。

この前にある溜池が大阪府最大の水面積46.5haをもつ久米田池で725年から14年の歳月をかけ竣工したという。



久米田寺は行基が開削指導した久米田池を維持管理するため天平10年(738)行基によって創建されたと伝えられている。その後何度か戦火に遭い、現在の建物は1674年に再建されたもの。



(久米田寺金堂)

境内を通り抜けると貝吹山古墳の小高い丘が目の前だ。全長130m円墳部分の直径75mの前方後円墳だ。

この古墳の脇を通り抜けると久米田古墳群のある公園に入り、無名塚古墳の円墳(右)の前で昼食をとる。



そこから北西に向い府道に出る所に鳥居がある。傍らの説明板によると、ここから東

約5k先の勅願社である積川神社の鳥居で、熊野参詣途上の白河上皇は、ここから積川神社を遥拝された由。説明板の横には遥拝旧蹟地の石碑も建てられている。

白河上皇は鳥居の扁額の筆蹟が拙いと「正一位積川大明神」と大書きしこれに代えたという。その額は神社の社宝として保存されており、現在の額は鳥居新調時にその扁額を模写したものとのこと。またこの「額」に因み、この辺りの地名が「額」と呼ばれている。

府道を南西にどんどん歩き、上松町南交差点を過ぎて、左に入った所に「恋の湧」と名付けられ小さな池がある。(右)池の中の石碑に恋の湧由来が示されている。



「あらざらむ この世のほかの思ひ出に いまひとたびの逢ふこともかな」と詠った和泉式部は、和泉守橋道貞の妻だったので、和泉式部と呼ばれ、古来この地に清泉が湧出するところから、恋多き女性和泉式部の旧蹟と伝えられているとうことだ。この付近には「恋ざめの湧」「かわず鳴かずのどんび湧」があると書いてあるのだが見つからなかった。

ここから約600mのJR東岸和田駅に向い、帰路についた。

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内
本館牡丹園

神戸市中央区元町通1丁目11-20

電話 078-332-4588 FAX 078-392-3020

JR元町駅東口海側下車、南へ(大丸方面へ)徒歩1

「三金会」

毎月第三金曜日 午後6時～
会費:3,500円(男性)
2,000円(女性)

「囲碁の会」

毎月第三金曜日 午後3時～
参加費:無料、ドリンク/500円



歩こう会9月例会 赤目四十八滝探索ハイク

一足先に秋を感じました

厳しい残暑が続く9月12日(日)、歩こう会二宮会長が「今年の面白イベントナンバーワン」と太鼓判を押す、赤目四十八滝探索ハイクが実施された。

当初阪神三宮駅発08:01を予定していたが、現地のバス運行時間に合わせて出発時間が07:41発に変更されていたのに気付かず、近鉄赤目口駅から赤目滝バス停までタクシーを飛ばす破目になった。幸か不幸か、同じ電車に8人が乗り合わせており、相乗りでバス代を少し上回っただけであった。バス停付近の土産物店で昼食弁当を調達し、赤目温泉対泉閣入口前の広場に全員が集まり二宮会長から本日の出席者紹介及び行程などの説明がなされた。



(参加者23名出発前の打合せ) 合計23名と今年最大の人数と

杉木立の古道の雰囲気のある道を進み、赤目滝入口に到着。入山料300円を払い建物の中に入るとそこはオオサンショウウオセンターとなっている。駆け足で見学して戸外に出ると溪谷沿いに遊歩道が続き、樹木に陽光が

で昼食弁当を調達し、赤目温泉対泉閣入口前の広場に全員が集まり二宮会長から本日の出席者紹介及び行程などの説明がなされた。

本日の出席者は同窓生8名、ゲスト15名になった。



(赤目滝入口)

遮られちよっぴり涼しく、ここにはもう秋がやっ来ていて感ぜられた。5分ばかり歩くと牛の置物がある。「赤目牛」と名付けられている。「役(えん)の小角(おづぬ)」が滝に向かって行を修めると不動明王が牛に乗って出現。その牛の目が赤かったので、この地を「赤目」と名付けたという。不動明王を祀ったのが不動院・延寿院で目の神様として親しまれ、この赤目牛を撫でると御利益があるという。



(赤目牛を撫でて)

最初に目についた滝は「不動滝」だ。案内図によるとそこ迄に「行者滝」「霊蛇滝」があったらしい。

連日の猛暑で水も少なくなっており、もう一つ迫りに欠けるようだ。右のHPから取り込

んだ不動滝の写真と比べるとその差は歴然としている。

殆んど日の当たらない溪谷沿いの、なだらかな上りの遊歩道を、汗も余り掻かず、気持ちのよいウォーキングだ。

これが滝？と言うような乙女滝、これかな？と見た屏風岩、どこにあるのか判らなかつた大日滝、そして川中にある大岩が八畳岩らしいと、いろいろと見やりながら次の赤目五瀑の一つ、千手滝へ向う。



切手の絵柄にもなったという千手滝も水不足のため憐れな姿を呈している。HPからの本来の姿を右に示しています。

この滝の前に千手茶屋があり休憩所となっている。



茶屋の前の橋を渡った所に弘法大師が護摩を修したと伝わる洞窟があり、大師の像が安置されている。その横に急峻な階段があり、ここで河野さんは大事をとり待機する事に。この階段を登ってすぐソーマンの様な布曳滝がある。そこから竜ヶ壺、釜ヶ淵、緋藤滝そして陰陽滝をすぎると百畳岩と呼ばれる大広場に到着し、ここで昼食をとることになる。

ここには茶店もあり、お茶、ジュース、ラムネが200円、ビール、お酒は400円、チューハイ、ノンアルコールビール350円で販売している。



(百畳岩の広場で昼食)

百畳岩を出た所に「七色岩」が。何かと思ったら、岩の上に自生したあかぎ、うめもどき、松、桜、つつじ、楓、樺が四季折々に花をつけ、紅葉し、七色に変化するのだと。



(七色岩)



姉妹滝、柿窪滝、笄滝、雨降滝、骸骨滝そして斜滝と通り過ぎて、本日の最終目標地点の荷担滝(にいたき)に到着した。振り分け荷物を担いだ姿に似ていると名付けられたそうだ。ここでも実写とHPからの写真を披露しましょう。



荷担滝の前で記念写真を撮り、帰路に就く。往路と同じ道を、入口まで約2600mの道のりだが、約1時間を要していた。スタンプラリーの最後のスタンプを押して応募箱に投函。素敵な記念品を毎月プレゼントだと。未だに音沙汰なし。

近鉄鶴橋駅で途中下車し焼肉を食べようと衆議一決。

狭い路地に焼肉屋さんがひしめいて独特の雰囲気の中、1月例会の石切神社初詣の帰りに寄った「鶴一本店」へ。たらふく食べ、たらふく飲み、たらふく払って再び電車へ。

